

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成26年9月4日 (2014.9.4)

【公開番号】特開2013-22310(P2013-22310A)
 【公開日】平成25年2月4日 (2013.2.4)
 【年通号数】公開・登録公報2013-006
 【出願番号】特願2011-161112(P2011-161112)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 5/05 (2006.01)

A 6 1 M 1/14 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 B 5/05 B

A 6 1 M 1/14 5 3 7

【手続補正書】

【提出日】平成26年7月16日 (2014.7.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

【図 1】図 1 は人工透析装置の概略図である。<http://www.medi-net.or.jp/tcnet/dtx/004.html>より転載)

【図 2】図 2 (a) はダイアライザーの概略図 (<http://www.nininkai.com/kiso.html>より転載) であり、図 2 (b) はダイアライザーの機能を示す概略図 (http://mobarac1.com/hemo_dialysis/hemo_dialysis.htmlより転載) である。

【図 3】図 3 は一対の (2 端子の) 電極を有する血液インピーダンス測定装置の概略図である。

【図 4】図 4 (a) は接触モデルの等価回路図であり、図 4 (b) は非接触モデルの等価回路図である。

【図 5】図 5 は生体組織のモデル図である。

【図 6】図 6 は、低張液、全血及び高張液についてのコールコールプロットである。

【図 7】図 7 は接触型血液セルの概略図である。

【図 8】図 8 (a) は、接触型血液セルについての $|Z|$ の測定結果であり、図 8 (b) は、非接触型血液セルについての $|Z|$ の測定結果である。

【図 9】図 9 (a) は、測定されたインピーダンスの実部をプロットしたグラフであり、図 9 (b) は、測定されたインピーダンスの虚部をプロットしたグラフである。

【図 10】図 10 は 4 端子電極を有する血液インピーダンス測定装置の概略図である。

【図 11】図 11 は薄型チャンバの概略図である。

【図 12】図 12 は同心型電極を有する薄型チャンバの概略図である。

【図 13】図 13 は、本発明に係るインピーダンス測定方法を示すフローチャートである。